

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、平成27年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市立門司障害者地域活動センター

所在地：北九州市門司区大字畑1808

施設内容

①施設概要

敷地面積：約13,942㎡

構 造：鉄筋コンクリート造1階建、展示場

規 模：延床面積 本体 約3,649㎡、展示場 約104㎡

②事業内容

- ・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」）に基づく生活介護
- ・ 障害者総合支援法に基づく短期入所
- ・ 障害者総合支援法に基づく施設入所支援
- ・ 障害者総合支援法に基づく就労移行支援
- ・ 障害者総合支援法に基づく就労継続支援 等

(2) 指定期間

平成28年4月1日～平成33年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：社会福祉法人 あすなろ学園

所在地：北九州市小倉南区大字新道寺1100番地1

主な業務内容：①第1種社会福祉事業（障害者支援施設の経営ほか）

②第2種社会福祉事業（障害福祉サービス事業ほか）

③その他市受託事業（日中一時支援事業ほか）

2 指定の経緯

平成27年5月25日 指定管理者検討会の開催（条件付き公募方式採用の妥当性検証）

平成27年8月3日	申請受付開始
平成27年8月10日	申請締め切り
平成27年9月3日	指定管理者検討会の開催（提案書等審査）
平成27年10月	指定管理者候補を決定

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、条件付き公募方式採用の妥当性及び申請者から提案された事業計画書等について検討を行いました。市は、検討会の検討結果を参考に条件付き公募方式の採用を妥当と判断し、指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

- ・[民間経験者] 大野 元次（北九州市知的障害者相談員協議会 副会長）
 - ・[民間有識者] 緒方 有為子（北九州福祉サービス株式会社 統括部長）
 - ・[学識経験者] 門田 光司（久留米大学 教授）
 - ・[公認会計士] 松田 融（松田会計事務所）
 - ・[学識経験者] 向笠 雄介（株式会社日本政策投資銀行九州支店企画調査課調査役）
- 【臨時員】**

※ 五十音順

※ 条件付き公募方式採用の妥当性を検証するに当たっては、公民連携や民間活力の導入の推進に関する視点が特に必要であるため、臨時員を招集しました。

5 条件付き公募方式採用について

(1) 条件付き公募とする理由

管理運営を任せる事業者が特定される施設であるかという視点（①利用者との継続的な信頼関係が「とくに」必要である施設かどうか、②人材について、高度な専門性が「とくに」必要である施設かどうか、③人材の育成に長期間「とくに」必要である施設かどうか）で検討した結果、門司障害者地域活動センターの指定管理者の選定に条件付き公募方式を導入することとしました。

別紙1「条件付き公募とする理由」のとおり

(2) 条件付き公募方式採用の妥当性検証

	構成員				
	A	B	C	D	E
妥当性	有	有	有	有	有

(3) 検討会における主な意見

- ・平成16年度より門司区において長年障害者の介護、就労支援事業を行ってきて

いる。成人の障害者への専門的支援を要する事業のため、妥当と言える。

- ・あすなろ学園は長年にわたり障害者の為に専門的に取り組んでいる団体であるため、指定管理施設として任せて妥当であると思う。
- ・地域社会との連携、就労、生活支援等高度な専門性をいかして、運営努力がなされていると思う。指定管理を受けることでさらなる充実を期待する。
- ・継続性の重要性は理解できるが、より合理的な経営や知恵出しの観点からも一般公募できないか、検討をお願いしたい。

6 選定基準

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていただくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など
	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
	② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
2	管理運営計画の適確性
	【有効性】
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
	① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
	② 施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
	③ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
	④ 利用者の障害特性等に応じた適正なサービス提供計画（個人計画）の作成等についての提案があるか。 ・発達向上 ・社会性の向上 ・身体機能の維持、向上 ・自立支援 など
	⑤ 利用者の家族支援（障害者を介護する保護者等）についての基本的な考え方や具体的な取り組み等の提案があるか。
	(2) 利用者の満足度
	① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
	② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
	③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
	④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
	⑤ 利用者のニーズ等に沿った取り組み（社会参加や生きがいがづくりなど）が考えられているか。

⑥	<p>⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。</p> <p>※就労移行支援・就労継続支援のサービスを提供する施設は、以下を提案に記載すること。</p> <p>利用者の一般就労、工賃（賃金）の向上のための具体的な取り組みが考えられているか。</p>
【効率性】	
(3) 指定管理料及び収入	
①	指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
②	収入が最大限確保される提案であるか。
③	完全利用料金制の場合、市に対して収益の一部を納付する提案があるか。
(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	
①	収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
②	経費の配分は適切であるか。
③	積算根拠は明確であるか。
④	再委託が適切な水準で行われているか。
【適正性】	
(5) 管理運営体制など	
①	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
②	施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
③	施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
④	職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
⑤	地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	
①	施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
②	施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が十分に考えられているか。
③	利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われるよう配慮されているか。
④	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
⑤	衛生管理及び感染症防止への対応策が十分に考えられているか。
⑥	防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。

7 審査結果

(1) 適 否

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	構成員			
		A	B	C	D
社会福祉 法人	1 指定管理者としての適性	適	適	適	適
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針				
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤				

あすなろ 学園	(3) 実績や経験など				
	2 管理運営計画の適確性				
	【有効性】				
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	適	適	適	適
	(2) 利用者の満足度				
	【効率性】				
	(3) 指定管理料及び収入	適	適	適	適
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性				
	【適正性】				
	(5) 管理運営体制など	適	適	適	適
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など					

(2) 検討会における主な意見

【指定管理者としての適性】

- ・重度のハンディキャップを持った人達に対して、個性を大切にし、自己決定を尊重した理念や基本方針が掲げられている。
- ・人材育成のための各種研修に取り組み、特にボランティアの導入、近隣の地域の人材活用を図っている。
- ・財政状態等問題ないと認める。
- ・長年の実績があり、障害者の社会的自立に向けた支援を行う専門施設として適正といえる。

【管理運営計画の適確性】

- ・利用者の障害特性や個別ニーズに応じて支援計画を作成、実施しており、また工賃増額にも努めている。
- ・利用者の目的や要望に応えられる様に事業ごとに対応、アンケートの実施、苦情には速やかに対応、第三者委員会からの意見も取り入れるようにしている。
- ・費用削減の取り組みがあり、収支計画は適正であると認める。
- ・各関係機関や社会資源等のつながり、地域との交流、法人のスキルアップ等取り組んでいる。
- ・ヒヤリハットやマニュアルを作成し安全管理に努めている。

8 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、社会福祉法人あすなろ学園を指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・長年にわたり、法人立の障害者・障害児施設の運営を行っており、障害福祉に関する専門的知識や経験、ノウハウを有している。門司障害者地域活動センターについても、平成16年の開設当初から円滑に管理運営を行ってきた実績がある。
- ・平成16年度開設当初から、指定管理者として施設の管理運営を行っている。施設の設置目的等についてよく理解しており、施設の管理運営に関して強い意欲が感じられる。
- ・一定の基本財産を有しており、財政基盤は安定している。
- ・利用者ニーズに基づく個別支援計画の策定、社会参加の推進、苦情対応、情報提供など、実績を踏まえた提案がなされている。

9 提案額

0円（平成28年～32年度の各年度）

条件付き公募とする理由

本施設は、入所機能を有する施設であり、利用者は生活の場として、24時間、運営団体と接する状況であるため、他の施設と比べ利用者と職員は密接な関係であり、「利用者との継続的な信頼関係がとくに必要と認められる施設」といえる。

また、重たい障害のある人が多く利用している施設でもあるため、支援を多く必要とし、高度な専門性・経験が必要な施設であり、「人材について、高度な専門性がとくに必要な施設」、「人材の育成に長時間とくに必要な施設」ともいえる。

さらに、現法人は、長年にわたり、法人設立の障害者・障害児施設の運営を行っており、障害福祉に関する専門的知識や経験、ノウハウを有している。門司障害者地域活動センターについても、平成16年設立当時より運営を継続的に実施している。

なお、毎年度の指定管理者事業評価においても適正な管理運営がなされていると判断されており、地域との交流も継続的に取り組み、就労系サービスでは販路拡大や自主製品の販売など支援の充実に努めているといえる。

については、本施設の公募方法は、「条件付き公募」方式の採用が適していると考えられるもの。

提 案 概 要

(北九州市立門司障害者地域活動センター 指定管理者)

団体名： 社会福祉法人 あすなる学園

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>ハンディキャップを持たれた方たちの個性と自己決定を大切にし、独立した人格と個人の尊厳を守りながら自立した生活への適切な支援を行い、豊かな環境を作ります。</p> <p>民営の特性を活かし、家族・地域住民・NPO・ボランティアと協力連携し、地域福祉の拠点施設として貢献致します。</p> <p>障害のある人すべての人々が地域で安心して暮らすことができる社会の実現を目指して</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 一人ひとりの個性と自己決定を大切にし、笑顔の絶えない明るい環境づくりを行います。 2 支援計画に基づいて、利用者の自立した生活と社会参加の支援をすすめます。 3 地域社会の中で開かれた施設として、地域との連携を深めます。 4 職員は専門的な知識と技術の向上につとめ、質の高いサービス提供をめざします。
<p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・短期大学・専門学校と連携をとり、ボランティア・実習生の受入を行っている。 ・ 求人は、派遣会社・公的機関・民間広告会社等を活用し、速やかな補充を心がけている。 ・ 職員の人材育成を目的に、各種研修制度を系統立てて取り組んでいくようにしている。 ・ キャリアパス制度の構築に取り組み、長く働ける職場づくりを目指していく。
<p>(3) 実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的にも古い歴史のある施設であり、入所系施設（児童・成人）運営における長い経験を積んでいる。今後その歴史を繋ぎ向上させる為に事業拡充に取り組んでいく。 ・ 職員の専門性を高めるために、積極的に有資格者の採用をし、資格取得を奨励している。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動（広報誌発行・HPの充実）・地域行事への参加等を行い、地域との連携を密にし、地域の拠点となるよう努力していく。 ・ 家族との関係を深め、短期入所等により・精神的負担を少しでも和らげていく。
<p>(2) 利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の目的や期待に応えられるよう、事業ごとの環境をさらに整えていく。 ・ 満足度アンケートと家族等の会話から、利用者のニーズを捉え反映できるよう努力する。 ・ 苦情等に対しては、苦情解決委員会を開催し、速やかに対応し改善できるように努力している。苦情解決委員会の構成員である第三者委員は、公平性・地域理解・地域連携の観点から地域の方をお願いしている。

【効率性】に関する取組み
(1) 指定管理料及び収入
<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人全体で「事務費・事業費 －3%削減」を掲げている。今後も、前年度実績を毎年見直し、年度ごとの削減目標を検討していく。 ・ 超過勤務削減に取り組み、期間内で「一人当たり一ヶ月10時間以内」を目指す。
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性
<ul style="list-style-type: none"> ・ より多くの利用者が利用したいと思ってもらえるような、多様なニーズに応えられる施設づくりを目指すことにより、利用率の向上と収入の増加を図る。 ・ IT関連の見直しを行い、ペーパーレス化を図っていく。 ・ 総合的な保守サービス等を再委託により適切に行っていく。

【適正性】に関する取組み
(1) 管理運営体制など
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各関係機関や社会資源等とのつながりを密にし、地域との連携を深めるとともに、法人のスキルアップを行い、福祉の総合的な拠点を目指す。 ・ 職場環境の改善を行い、職員の働く意欲の向上を促す。同時にメンタルヘルス・子育て支援についても取り組んでいく。
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報保護に関して、研修、誓約書への署名、日常の業務の中で意識付けを行っている。 ・ 安全対策についても、避難訓練（1回/1ヶ月）、事故報告、ヒヤリハット報告等を基に、見直しを行う体制作りに取り組んでいる。 ・ 感染症マニュアル等を整備し、感染症の拡大等の防止に取り組んでいる。

提案額（千円）

28年度	0円
29年度	0円
30年度	0円
31年度	0円
32年度	0円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。

北九州市立門司障害者地域活動センター

指定管理者

提 案 書

団体名： 社会福祉法人 あすなろ学園

1-(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針

ア 施設を管理する上での理念、基本方針について

社会福祉法人あすなろ学園 基本理念

ハンディキャップを持たれた方たちの個性と自己決定を大切にし、独立した人格と個人の尊厳を守りながら、自立した生活への適切な支援を行い豊かな環境をつくります。

民営の特性を活かし、家族・地域住民・NPO・ボランティアと協力連携し、地域福祉の拠点施設として貢献いたします。

社会福祉法人あすなろ学園 基本理念

利用者の方たちと職員は、次の基本方針を守り、共に努力します。

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 自分のことは自分です。 | —自立・自律— |
| 2. 人に頼らない。 | —自活・厚生— |
| 3. 正直な心を持つ。 | —誠心・実直— |
| 4. 友達と仲良くする。 | —友愛・連帯— |
| 5. 働くことを喜ぶ。 | —就業・従業— |
| 6. 自己決定を大切にする。 | —権利・義務— |
| 7. 地域の一員として生きる。 | —住民・市民— |
- (利用者・支援者)



北九州市立門司障害者地域活動センターの管理運営に対する基本方針

障害のある人すべての人々が地域で安心して暮らすことができる社会の実現を目指して。

- 1 一人ひとりの個性と自己決定を大切にし、笑顔の絶えない明るい環境づくりを行います。
- 2 支援計画に基づいて、利用者の自立した生活と社会参加の支援をすすめます。
- 3 地域社会の中で開かれた施設として、地域との連携を深めます。
- 4 職員は専門的な知識と技術の向上につとめ、質の高いサービス提供をめざします。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

1-(2) 安定的な人的基盤や財産基盤

ア 管理運営を行なっていくための人的基盤、財産基盤について

人的基盤

地域福祉の担い手を育成するため、大学・短期大学・専門学校等の実習生を積極的に受け入れる他、ボランティアや職場体験等として地域の住民や学生・ボランティア団体等を受け入れています。

職員の退職等による人員減になった場合は、適切な支援体制を維持するため、公的求人機関のみならず、民間の求人会社等の活用や派遣会社からの派遣も含め、速やかに補充出来る体制を整えています。また、福祉の合同面談会などの説明会に参加し、求人の開拓を行っています。

(求人に関して：各種学校・ハローワーク・マザーズハローワーク・若者ワークプラザ・キタQナビ各種合同説明会・日経就職ナビ・民間求人情報誌に掲載)

(派遣会社に関して：高齢者能力活用センター・生活保護受給者等職業紹介事業・トータルテック・スタッフサービス等)

職員は、各種研修に参加する中で、日々資質の向上を図っています。また、法人内異動を行い、事業種別にとらわれない総合的なスキルアップを目指しています。

また、法人全体で、系統立てた取り組みとして、より高い専門性を持った職員の育成を進めるため、経験年数等に合わせた支援技術の向上に取り組んでいきます。

さらに、各種手当関係（夜勤手当・役職手当等）、嘱託職員の処遇改善の一環として、扶養手当・住宅手当等の充実を図り、福祉・介護人材の処遇改善加算金を利用し、キャリアパスの構築を進め、法人全体の資質向上及び福利厚生の実を継続し、長く働ける職場作りを目指していきます。

参考資料

- ・ 実習生受入実績「実績表」 …… P 2 8
- ・ 人員配置計画表「様式 1 3」 … P 5 3

財政基盤

法人全体での流動資産、基本財産、純資産等においては健全であり、利用者サービスの提供において、十分な財政基盤の安定を図っていきます。多様な利用者ニーズに応えていくため、グループホームの建設を行いました。今後利用率を向上させ、安定した財政基盤を確保していきます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A 4 版）を作成してください。

1-(3) 実績や経験など					
ア 同様、類似の業務の実績について					
業務 内容	(1) 第一種社会福祉事業 (イ) 児童福祉法に基づく障害児入所施設の経営 (ロ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という。）に基づく障害者支援施設の経営 (ハ) 障害者総合支援法に基づく障害者支援施設の受託経営 (2) 第二種社会福祉事業 (イ) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業の経営 (ロ) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業の受託経営				
	主な 実績	第1種社会福祉事業	種類及び名称	事業開始年月日	定員
障害児入所施設			あすなろ学園 『48年間』	S42年 6月 1日	30名
障害者支援施設			障害者支援施設母原 (施設入所支援) 『39年間』 (生活介護)	S51年 9月 1日 (H24年 4月 1日) (H24年 4月 1日)	57名 57名
障害者支援施設		北九州市立門司障害者地域活動センター 『11年間』 (施設入所支援) (生活介護Ⅱ)	S16年 4月 1日 (H24年 4月 1日) (H19年 1月 1日)	60名 54名	
第2種社会福祉事業		短期入所事業 (障害児)	あすなろ学園	H15年 4月 1日	(空床型)
		短期入所事業 (障害者)	障害者支援施設母原	H15年 4月 1日	(空床型)
		短期入所事業 (障害児者)	北九州市立門司障害者地域活動センター	H16年 4月 1日	6名
		生活介護事業	同 上	H19年 1月 1日	50名
		就労移行支援事業	同 上	H21年 4月 1日	10名
		就労継続支援 (B型)事業	同 上	H21年 4月 1日	30名
公益事業	地域生活移行体験事業 (北九州市補助事業)		H20年 10月 1日	4名	

	その他	北九州市地域生活支援事業 (日中一時支援事業:あすなる学園・障害者支援施設 母原・北九州市立門司障害者地域活動センター)	H18年10月1日	空床 6名
--	-----	--	-----------	----------

イ 施設の管理運営に関する専門的知識や資格などについて

職員の専門性を高めるため、積極的に社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・保育士・ケアマネージャー等の有資格者の採用や資格取得を奨励しています。

法人全体では、約半数の支援員が上記資格を取得しています。

福祉分野以外の労務・税務・経営面においても、第三者の意見を広く取り入れる為、社会保険労務士・税理士・弁護士など、法人全体で専門家による協力体制を構築しています。

参考資料

- 法人全体資格取得者人数「実績表」…P 27
- 人員配置計画表「様式13」……………P 53